

# 令和4年度 第2回諏訪市まち・ひと・しごと創生有識者会議 会議録

## ○ 日 時

令和5年1月23日（月）午後1時30分～3時00分

## ○ 会 場

諏訪市役所 5階 大会議室

## ○ 出席者

<諏訪市まち・ひと・しごと創生有識者会議委員>

中嶋博美委員、山谷恭博委員、茅野昭一委員、宮原渉委員、櫻井哲朗委員、  
増田哲委員、清水俊文委員、林道明委員、佐久秀幸委員、有賀仙太郎委員、  
金子ゆかり委員

<諏訪市まち・ひと・しごと創生本部委員>

後藤副市長、松木総務部長、前田企画部長、金子市民環境部長、守屋健康福祉部長、  
中島経済部長、樫尾建設部長、茅野水道局長、細野教育次長、藤森議会事務局長

<事務局>

柳平企画政策課長、下澤企画政策係長、武居企画政策係主査、名取企画政策係主任

## ○ 欠席者

<諏訪市まち・ひと・しごと創生有識者会議委員>

宮坂友子委員、松澤卓也委員、牛山久仁彦委員、山崎三千代委員

## ○ 会議概要

- ・諏訪市まち・ひと・しごと創生総合戦略効果検証結果（案）を説明し、令和3年度の諏訪市の地方創生に対する取組やその成果について確認。また、計画期間7年間の総まとめ（案）について確認。有識者会議としての効果検証を実施した。

## ○ 会議録

### 1 開会

#### （前田企画部長）

- ・令和4年度第2回諏訪市まち・ひと・しごと創生有識者会議を開催する。
- ・本日委員総数15名のうち、出席者は11名。諏訪市まち・ひと・しごと創生有識者会議設置要綱に定められている、委員の半数以上の出席があることを報告する。

### 2 市長挨拶

#### （前田企画部長）

- ・諏訪市金子市長よりご挨拶申し上げます。

#### （金子市長）

- ・日頃から皆様には、諏訪市に対してご理解ご指導等、お世話になっており厚く御礼を申し上げます。

- ・今年度 2 回目の会議となる。まち・ひと・しごと創生総合戦略は、平成 27 年に作成し、令和 3 年度の実績をもって 7 年間の計画期間を終了する。
- ・社会増減、自然増減というフィルターから計画を作り取り組んできたが、この計画を総合計画の中に取り込み、今年度から第六次諏訪市総合計画の中で進行している。
- ・本日の会議の目的は、7 年間の総まとめも含めるが、まずは令和 3 年度における計画の進捗状況に対する評価をいただくこと。そして、最後には 7 年間の総まとめとしての評価もいただきたい。
- ・この計画も 3 年間という新型コロナウイルス感染症の思わぬ影響を受けてきた。実際の取組、そして、コロナの影響についても一緒に考え、数字にとどまらず皆様からの忌憚のないご意見をいただき、今後の事業の参考にさせていただきたい。
- ・限られた時間ではあるが、よろしくご意見申し上げます。

### 3 新委員紹介

#### (前田企画部長)

- ・諏訪商工会議所において会頭の交代、諏訪信用金庫上諏訪支店において支店長の人事異動があった。諏訪市まち・ひと・しごと創生有識者会議設置要綱に基づき、後任の山谷様、清水様に委員を委嘱する。
- ・委嘱状については先日送付させていただいたため、新委員の山谷様、清水様から一言ご挨拶をいただきたい。

#### (山谷委員)

- ・昨年 11 月から諏訪商工会議所の会頭を務めさせていただいている。昨日まで資料を読み込んできたが、分からないこともあるので、本日の会議でしっかり理解したい。よろしくご意見いただきます。

#### (清水委員)

- ・昨年 7 月の人事異動で上諏訪支店、清水町支店、湖岸通支店の支店長を拝命いたしました。甚だ自信はございませんが、少しでもお役に立てればと思うので、よろしくご意見いただきます。

#### (前田企画部長)

- ・以降の進行は会長である金子市長にお願いする。

### 4 議事

#### (1) 諏訪市まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果検証について

##### ①効果検証について

#### (金子会長)

- ・それでは議事に入る。
- ・「(1) 諏訪市まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果検証について」。
- ・まずは「①効果検証について」、事務局から説明をお願いします。

#### (下澤企画政策係長)

※資料 1 を基に説明

**(金子会長)**

- ・この内容について、質疑等ありますか。  
(質疑なし)

**②諏訪市まち・ひと・しごと創生総合戦略効果検証結果(案)**

**(金子会長)**

- ・続いて「②諏訪市まち・ひと・しごと創生総合戦略効果検証(案)」。
- ・まずは概要について説明。その後、4つの柱ごとに説明を受けていく。
- ・概要と一之柱まで、事務局から説明をお願いします。

**(柳平企画政策課長)**

※資料2を基に、概要について説明

**(名取企画政策係主任)**

※資料2を基に、一之柱の効果検証結果について説明

**(金子会長)**

- ・この内容について、質疑等ありますか。

**(A委員)**

- ・観光について、観光グランドデザインを作成し、諏訪市のありとあらゆる問題について、グランドデザインを中心に様々な細かい区域を決めながら、これからの諏訪市を発展させていくということで、「未来ビジョン」や「かわまちづくり」など、各地域の魅力的な部分を細かく紐解いていくことは大変素晴らしいと思う。
- ・しかしながら、観光に限らず、様々な部署において様々な会議が開かれていて、グランドデザインの中でそれらをどう一本化していくかが大変重要になってくると思う。
- ・今回の御柱祭を見ていると、コロナの影響が少なからずあったと思うが、全国的な興味関心が御柱に向けられていたという分析がなされている。
- ・このグランドデザインが、これからこの地域における観光産業の規程になっていくと思う。インドネシア等、中国以外からの観光客が入ってくるが、諏訪市においては、外国人観光客がまだほとんど来ていない状況。外国人観光客をどう取り込んでいくかが、観光の発展を大きく左右すると思っている。
- ・いずれにしても、観光グランドデザインができたことによって、諏訪の観光が大きく飛躍していくことを望んでいる。

**(B委員)**

- ・数値面で検証結果を出すということは、目標値があり、実績値があり、その上でどうするかという話になると思うが、5ページの一之柱の実績値と6ページの同じような資料の実績値が異なる。定義が違うのか。最終的にはどちらの実績値になるのか。

**(柳平企画政策課長)**

- ・6ページの数字が間違っており、5ページの数字が正しい数字になる。

**(B委員)**

- ・6ページは必要性があるのか。

#### (柳平企画政策課長)

- ・5ページのみで足りるが、それぞれの柱で多くの事業があるので、それを6ページでまとめたという形になっている。

#### (金子会長)

- ・ご指摘ありがとうございます。6ページについては、精査をして不要であれば削除するなど、一度検討させていただく。

#### (C委員)

- ・7ページに一之柱のKPIが載っているが、「努力が必要」がいくつかあり、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けたため仕方ない部分があると思うが、例えば、上から3番目の「新規創業した工業事業所数」や、一番下の「SUWA プレミアム取扱商品数」、その上の「大学と市内企業とのマッチング件数」については、コロナの影響を大きく受けていないが「努力が必要」となっている。これについての評価はどこに記載があるのか。

#### (柳平企画政策課長)

- ・14ページに表があり、一番下の「新規創業した工業事業所数」に担当部局の考察がある。令和3年度の新規創業工業事業所は1事業所。工業を行うにはそれなりの規模が必要であるため、まずは希望に見合う物件があるかが大きな課題であり、市内で希望物件を見つけるのに苦労すると聞いており、事業用地の確保が今後の課題である、と担当課では考察をしている。今後の取組としては、新規創業を促すためにも支援は必要だという認識であり、国や他自治体の制度内容を見ながら継続的に取り組んでいく、としている。

#### (名取企画政策係主任)

- ・「大学と市内企業とのマッチング件数」については、29ページのKPIの進捗状況の二つ目に記載がある。また、主な成果の一番下「公立諏訪東京理科大学と市内企業とのマッチング事業」の右側にこれについての課題と対応の記載がある。
- ・「SUWA プレミアム取扱商品数」については、30ページに記載があるが、令和2年度に認定商品の見直し等を行っており、そこで商品数が一旦下がり、それ以降は引き続き増加傾向であるということで、基準の見直しが入っているため数値的には「努力が必要」ということになっているが、見直し後は増加傾向である、という分析がされている。

#### (D委員)

- ・一之柱の目標値一覧を確認した。率直に思ったのは、達成度の目安が「順調」、「概ね順調」、「努力が必要」ということで、例えば、「概ね順調」と「努力が必要」だと何かの尺度が変わったり、角度が変わったりするのか。やはりPDCAをやる以上は、達成率の度合いによって中身のアクションに関して角度が変わるべきだと思うので、今後の取組のところが大事だと思っている。ものによっては、「概ね順調」でも「努力が必要」でもあっさりしているので、少し不安が残るとというのが正直な印象。
- ・例えば、一之柱の施策1、「(5) 大学卒業者等就職ガイダンス延べ参加者数」が、「概ね順調」となっているが、とても順調ではない。過去、参加者数はこんなものではなかった。この人数で満足している企業はおそらく無いと思う。やはりここは厳しい評価をして、今後何が必要なのかをより深掘りする必要があると思う。
- ・そのほかにも、例えば、諏訪東京理科大学との連携も、そういう連携をして何社プロジェク

トに参画した、となっているが、その後どうなのかというところが必要。例えば、これを超えるとういうふうになる、という目標値の妥当性の検証は、やはり裏付けのある数字、効果のある目標設定でないと活動が弱くなってしまうのではないかと思う。

**(金子会長)**

- ・目標設定をする段階での研究が必要というご指摘か、それとも世の中の状況がここで急激に変化したので、時代の流れに沿って途中で研究をする必要があったというご指摘か。

**(D委員)**

- ・両方あると思う。やはり KPI は数字が活動の全てになるので、KPI の根拠が大切。それが過去の実績であってもいいが、その実績がそもそも高いのか低いのか。その実績を達成すればどこかの数字の推移に寄与するのか。製造業もそうだが、都度そこを検証して、世の中のニーズなどに合わせて変化する必要があると思っているので、この数字はこだわってほしい。

**(下澤企画政策係長)**

- ・「大学卒業者等就職ガイダンス延べ参加者数」の目標値については、当初の目標値をそのまま継続している。達成度は、80%から 100%は「概ね順調」といった目安がガイドライン等で示されているので、この目安を変えるのは難しいが、目標値については、見直しが必要などころは見直すべきだと思う。第六次諏訪市総合計画においては、目標値の根拠も示しており、効果的に検証できるようにしているので、ご理解いただければと思う。

**(中島経済部長)**

- ・大卒、人材確保の関係は、確かに目標値を達成できずにいる。これについては、皆様のお力をいただきつつ、学卒者の就職率が上がるような対策を現在検討しているので、新しい動きに対してまたご協力をいただければと思う。目標を達成できていないことについては、真摯に受け止めて対応したいと考えている。
- ・大学と市内企業のマッチングについては、大学側でどういった研究をされているか、どういった成果を出しているか等により、若干数値の上下があると思っている。大学とコミュニケーションを密にして、なるべく件数が増えてくるように対応したいと考えている。

**(金子会長)**

- ・続いて、二之柱について、事務局から説明をお願いします。

**(名取企画政策係主任)**

※資料 2 を基に、二之柱の効果検証結果について説明

**(金子会長)**

- ・この内容について、質疑等ありますか。

**(E委員)**

- ・移住関係では、以前は退職されてこちらへ来る方が多かったが、最近は若い人たちが移住して来て、家でも仕事ができるようになったので、東京の会社に勤めながらという人も増えていて、移住関係はそれなりに良いと思う。
- ・不動産関係は、3 年ほど前は業者も減っていて、業者を増やそうと宅建協会で活動していたが、近年、諏訪はまだそれほどではないが、長野市や松本市、軽井沢などは都会から来

て不動産を起業される方がかなり増えてきている状況。あとはやはり、諏訪から出ていく人たちがなかなか減らないことが問題だと思う。

**(金子会長)**

・続いて、三之柱について、事務局から説明をお願いします。

**(名取企画政策係主任)**

※資料2を基に、三之柱の効果検証結果について説明

**(金子会長)**

・この内容について、質疑等ありますか。

**(F委員)**

- ・私は7年間こちらに関わり、子どもは保育園から中学生になった。このコロナに関しては、学校でもとても努力してくださっていて、学校に行けないときはタブレットで朝の会をやり、その後各授業をスタートしていくということで、コロナ禍でもとても努力してくださっている。目標値が高く設定されているので実績値と比べると達成度は不十分なものがあるが、皆さんの頑張りの部分では、「順調」や「概ね順調」の評価をしたいと感じている。
- ・新型コロナが流行した際に、委員の皆さんから目標数値を見直したほうがいいのではないかという意見があったが、市がこの目標数値でやっていくということだったので、達成度が下がることは予想していて今を迎えているということが背景にあると思う。そこは理解しなければいけないと感じている。

**(金子会長)**

・最後に四之柱について、事務局から説明をお願いします。

**(武居企画政策係主査)**

※資料2を基に、四之柱の効果検証結果について説明

**(金子会長)**

・この内容について、質疑等ありますか。

**(G委員)**

- ・四之柱ではないが、先ほどの三之柱の合計特殊出生率のことについて少し考えてみた。全国の出生率を見ると、令和以前、平成には1.4付近を上下していたが、おそらくコロナの関係で令和元年以降が減少傾向になっている。それが若干のタイムラグで諏訪市へ影響してきているとも思えるし、あとはこれが諏訪市特有の現象なのか、または他の地方に同じような動きをしているところがあり、何か共通項目があればそれが原因だというように調べられると思う。分析する際は、諏訪市特有なのか、何か他の共通項目で同じ要因があるのかということ进行分析すると有効だと思う。

**③計画期間（7年間）総まとめ（案）**

**(金子会長)**

- ・続いて「③計画期間（7年間）総まとめ（案）」。
- ・事務局から説明をお願いします。

### **(柳平企画政策課長)**

※資料3を基に、計画期間（7年間）総まとめ（案）について説明

### **(金子会長)**

- ・この内容又は全体を通して質疑等ありますか。

### **(H委員)**

- ・専門分野としては一之柱、二之柱になる。令和3年、コロナが流行してから、工業についてはある程度順調に推移をしてきた。令和3年の終わりから令和4年に入ってから、様々な不確定要素により、工業においても材料不足、人手不足、後継者不足が顕著になった。特に、技術伝承の問題等はかなり深刻な問題となりつつある。
- ・商業においても、コロナの大きな影響を受けており、加えて商店、飲食店等の経営者の高齢化が進んでいて、なかなか弾き返すことができないという状況。
- ・全体として、コロナ禍でありながら善戦はしていると思うが、ここ二十年来、賃金、生産性がほぼ横ばいで推移しており、世界的なインフレーションに対して、どう対応していけばいいかという心配がある。善戦をしていると言ったが、これがこの先続くかということ、不透明なところがあると思う。
- ・諏訪市では、観光と工業の2本の柱、そして商業が下支えしているという状況なので、観光が今後どの程度諏訪の経済に寄与していくかが大きな要素になると感じている。

### **(I委員)**

- ・一之柱、二之柱、三之柱、四之柱と縦に読むと、明らかにここ2年間でコロナによる影響が起因してKPIの数値目標が乖離した部分もあると感じた。
- ・しかしながら、3年間のコロナの中で、個社別に見ると、各種国の補助金等を使いながら、ユニバーサルツーリズムに基づく付加価値の向上など様々な努力をしており、そういった努力が諏訪の魅力として今後発信されていくと感じている。
- ・また、コロナの5類への移行ということで、今後、それを踏まえた中で、PDCAのPやDの部分を検討してほしいと感じている。

### **(金子会長)**

- ・「(1) 諏訪市まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果検証について」、本日お示した内容を有識者会議の効果検証結果としてもよいか。同意いただける方は挙手願います。

(※全員挙手)

### **(金子会長)**

- ・ありがとうございました。それでは、これを有識者会議の効果検証結果とさせていただく。今後、庁内での本部会議で最終確認をし、最終結果を確定していく。
- ・限られた時間の中ではあったが、忌憚のないご意見をいただきありがとうございました。
- ・本来は11月に本会議を開催する予定だったが、欠席者多数のため本日まで延期をさせていただいた。皆様にご不便をおかけしたことをお詫び申し上げます。
- ・以上で議事を終了とさせていただく。ご協力ありがとうございました。

## 5 その他

### (前田企画部長)

- ・様々なご意見をいただき、ありがとうございました。
- ・数値の間違ひがあったので、精査をして最終確定していく。  
(事務連絡なし)

## 6 閉会

### (前田企画部長)

- ・閉会の挨拶を、副会長の増田様よろしくお願ひいたします。

### (増田副会長)

- ・本日は、令和4年度第2回諏訪市まち・ひと・しごと創生有識者会議にご参加いただきありがとうございました。
- ・コロナの終息がまだ見通しの立たない状況であり、各事業ともやりづらい環境の中、本当に努力していたことがよく理解できた。これまでの7年間の努力にまず敬意を表したい。
- ・コロナについては再三再四議論が出ているが、今年はいよいよウィズコロナ、アフターコロナという状況になってきている。コロナ以前に戻ることはないかもしれないが、徐々に平常に戻していく中で、なかなか進捗が進まなかった事業も、コロナを言い訳にはできにくくなってくると思うので、さらに創意工夫しながら進めていってほしい。
- ・金子市長のお話を何度か聞く機会があり、今年の新年のときに、市長が技術革新のお話をされたことがとても印象に残っている。技術革新は、非連続で新しい価値を生み出すという印象かと思うが、0から1を生み出す、無から有を生み出すことはなかなか難しい。しかしながら、既存の資源を新しい発想で組み合わせることによって、新しい価値を生み出すことは、これもまた一つのイノベーションだと個人的に思っている。
- ・諏訪市には、自然観光の資源、歴史文化の資源、製造業をはじめとする高い技術力、そういった様々な要素、素材が数多くある。これを新しい発想で結びつけることによって、より付加価値の高い新しい価値を生み出せるのではないかと思っている。
- ・コロナが終息すると人の交流も増える。人の交流が増えることにより、様々な価値観を持った、様々な考え方をを持った人々が集い、それにより新しいアイデアも生まれてくると思う。市の職員の皆様、そして我々市民もそういった観点で様々な方と対応しながら、新しい価値を見つけていくという取組も是非やっていきたい。
- ・諏訪市がさらに豊かで明るく元気な街になるよう、皆で取り組みたいと思う。本日は大変お疲れ様でした。ありがとうございました。

### (前田企画部長)

- ・ありがとうございました。会議はこれで終了となります。
- ・委員の皆様、本日は誠にありがとうございました。

(閉会 15時00分)